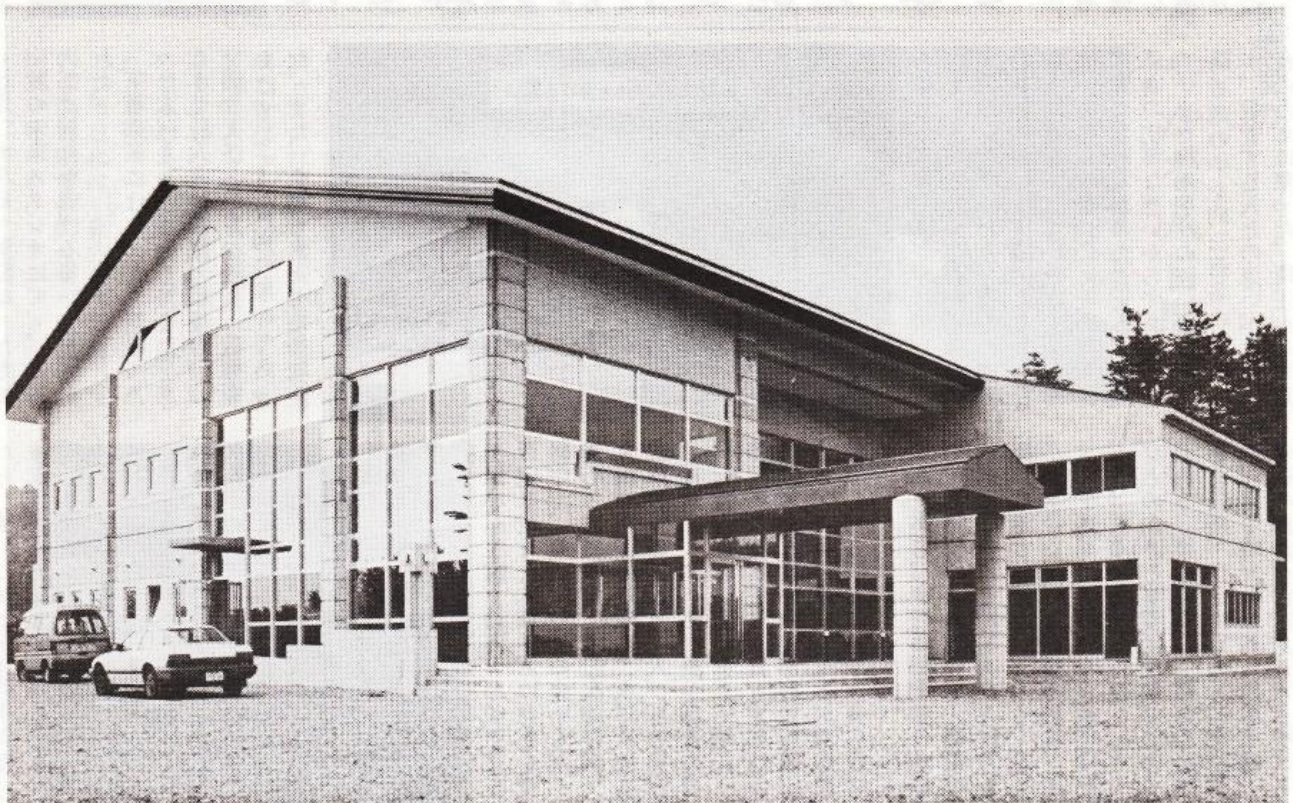


劇団群馬中芸

機関紙第41号

1988年9月20日発行

勢多郡富士見村大字
赤城山字大河原626-498
TEL 0272(88)2700



未来スタジオ誕生

——みんなの手で、みんなの劇場ができました。

「人びとの手による、人びとの可能性を拓く劇場」を合言葉に、いまから十年前に結成された「群馬未来劇場を建設する千人の会」によって、このほど念願の劇場

《未来スタジオ》が完成しました。

この劇場運動は、何でも行政の援助や力に頼る風潮の中で、文化や芸術というものは本来人びとの手によって創られ、人びとに支えられて育つものだと思える学者や詩人、教育者や音楽家、画家・彫刻家・演劇人たちの呼びかけに応じて、約千人の幅広い階層の人びとが集り、それぞれが力に応じた資金を拠出しあって活動を進めてきました。

もちろん、私たち劇団群馬中芸も、同じ演劇仲間の人形劇団みつばちや劇団風、それに群馬歌舞団、劇団ロシナンテ、劇団蘆、演劇サークルひまわりの人びとと共にこの運動に加わり、全国でも初めてとあっていいこの劇場運動を成功させるために力を合せて努力をしてきました。その甲斐あってこの六月、大勢の人びとの願いが実を結んだのです。

《未来スタジオ》の所在地は、群馬県勢多郡富士見村大字赤城山字大河原六二六一四九八番地、赤城は鍋割山の麓の松林に囲まれた静かなところです。建物は鉄筋コンクリート2階建て、1階が二六二坪、2階一三九坪、敷地は約千

坪ほどあります。劇場部分は百二十坪で、舞台も観客席もそこで演ぜられる作品の内容にあわせて、自由に変化出来るよう設計されています。

劇場の天井は吹き抜けで、天井全体に歩き回ることのできるキャット・ウォークを取り付けてあります。照明器具やスピーカー、そして舞台効果を高めるエフェクトマシンや幕などを、自由に取り付けたりはすしたりするためです。演劇を始め、舞台芸術というものは、もともと手造りのものです。ですから、自分たちの手で作れるものは一切自分たちで作ることにしました。舞台だけではなく、ロビーに置く木のベンチまで、会員たちの手で間接材を使って作りました。東京からも龍前照明研究所の仲間たちが駆けつけてくれ、泊りがけで電気設備の仕事を手伝ってくれました。こうして文字通り人びとの手によってみんなの劇場ができたのです。

私たち群馬中芸は、七月に早速この新しい劇場に本拠を移しました。家賃は目玉のとび出るほど高いのですが、ここでじっくりと腰を据え、本当に皆さんに喜んでいただける良いお芝居を創たいと考えています。前橋駅から車で約三十分。どうか、お芝居を見がてら是非一度遊びにおかけ下さい。